

2013年2月 吉日

各 位

社団法人 J C 総研

〒162-0826

東京都新宿区市谷船河原町1-1番地

飯田橋レインボービル5階

電話：03-6280-7254

## J C 総研 第23回公開研究会について（ご案内）

拝 啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃当研究所の事業につきまして格別のご理解・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当研究所では協同組合経営研究誌『にじ』2013年夏号で、「格差・貧困等社会的排除克服」特集を企画しております。その前段として協同組合研究者・実践家等との間で幅広く意見交換し議論を深めるため下記のとおり公開研究会（第23回）を開催することとしました。

つきましては、日本社会の将来像と協同組合運動のあり方を展望し、広く意見を交したいと存じますので、関係者の皆様にご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

敬 具

記

1. **開催日時**：2013年4月13日(土) 13:00～17:40時
2. **開催場所**：明治大学(駿河台) リバティタワー9F 1094号教室
3. **研究課題**：「格差・貧困等社会的排除の克服」
4. **報 告**：
  - ・第1報告 「子供・若者達の貧困～ドキュメント『高校中退』～(仮題)」  
報告者 青砥 恭 氏(NPO法人さいたまユースサポートネット代表、明治大学講師)
  - ・第2報告 「自立支援から共生型ケアへ」(仮題)  
報告者 古村 伸宏 氏(日本労働者協同組合連合会 専務理事)
  - ・第3報告 「生活・就労支援等を通じた社会的排除克服の道筋(仮題)」  
報告者 福原 宏幸 氏(大阪市立大学 教授)
5. **参集範囲**：協同組合運動の研究者、協同組合・関係団体の役職員等
6. **参加申込**：4月5日(金)までに事務局あてEメールもしくは電話でご連絡ください。  
参加費は無料です。
7. **事務局**：竹内久和 tel; 03-6280-7289 Eメール; k-takeuchi@jc-so-ken.or.jp  
山田 聡 tel; 03-6280-7291 Eメール; s-yamada@jc-so-ken.or.jp

以上

(ご参考)

- ・ 第1報告 「子供・若者達の貧困～ドキュメント『高校中退』～（仮題）」  
報告者 青砥 恭 氏（NPO 法人さいたまユースサポートネット代表、明治大学講師）

(報告内容 (予定))

氏が執筆された「子供・若者達の貧困～ドキュメント『高校中退』」を基本に、子供・若者達の格差・貧困の実態を明らかにするとともに、今後の対応方向を提起する。

- ・ 第2報告 「自立支援から共生型ケアへ（仮題）」  
報告者 古村 伸宏 氏（日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）連合会 専務理事）

(報告内容 (予定))

ワーカーズコープでは、行政と連携しながら「協同労働による生活保護受給者の自立支援事業」に取り組んでいる。同事業の特徴や具体的な取組事例等の紹介を通じて協同労働の有効性を明らかにするとともに、行政との協働関係や役割分担の実態と課題、さらに今後目指すべき方向性として（単なる就労支援ではなく）仕事おこしや地域づくり等を含めた「共生型ケア」への展開について論じる。

- ・ 第3報告 「生活・就労支援等を通じた社会的排除克服の道筋（仮題）」  
報告者 福原 宏幸 氏（大阪市立大学 教授）

(報告内容 (予定))

社会的排除からの脱出に向けた重要な政策課題の一つは、労働への（再）統合に向けてどのような支援フレームワークを構築するかが重要であると言われている。そうした観点から就労支援という側面からの排除克服に向けた制度・政策の全体像を、日本型アクティベーション政策の可能性という観点から論じる。

(※注)

上記報告内容（予定）は、JC総研事務局から各報告者に依頼した内容です。実際の報告内容と異なる可能性もありますので、あらかじめご承知おきください。